

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.41

2022.1 月号



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお祈りいたします。

昨年はコロナの影響で滞っていた日本事務局のカンボジア出張をようやく行うことができました。本年もコロナに負けず、一步一步支援を進めていきます！どうぞ本年もよろしくお祈りいたします。



水祭り期間にイベントで盛り上がりました！

カンボジアでは11月18日から20日までの三日間、水への感謝を捧げる「水祭り」と呼ばれる祝日があります。

孤児院でもイベントを開催し、初日は1年ぶりとなる日帰り遠足、2日目は園内で水風船を投げ合いで水をかけあい、夜は月見をしながらお祈りしました。3日目はBBQを行いました！特に、大きなエビを食べたことがない子もいて、焼いている間じっとエビを見つめ、焼き上がってからは、むさぼるように食べている様子が、とても微笑ましかったです。



支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



高校3年生 進学希望の学校見学

高校卒業後に行きたい学校(大学や専門学校など)とN5試験会場のCJCCも含めて5つの学校を視察見学してきました。アプリなどで学校の様子は見えますが、実際に建物を目にするのと今までのイメージより学校に通う光景を鮮明にカラーでイメージが出来たのではないかと思います。高校3年生が希望の学校に行けるよう、よりパワフルに卒業試験やN5試験勉強ができるように、最後までサポートを続けていきます。



学校運営 (バングラデシュ) 【NDMSC】

大学受験再開

コロナの影響で大学入試が1年半止まっていましたが、学校再開と共に急遽入試も再開することになりました。貧しい子どもたちでも、夢教育を通して、バングラデシュ最難関のダッカ大学に入学することができることを証明していきます。

ダッカ大学の1次試験を突破したシマントくん 写真左から2番目



出張報告

佐藤事務局長が約2年ぶりにカンボジアに出張に行ってきました！

コロナの影響でリモートが続き現地に行けない日々が続きましたが、2021年11月2日から12月2日までの1カ月間、ようやくカンボジアに出張に行っていました。現状を見て率直に感じた事は、まだまだSAJの支援が必要だということです。

特に、ふれあいサポート支援やお米支援をしている家庭は困窮状態で、想像していたよりも非情な現実でした。仕事がないたくさんの親がお米を自ら受け取りに来ていてSAJの支援に対して深く感謝していました。どこに行っても子どもたちの喜ぶ姿はもちろんですが、SAJの変わらぬ支援と前年よりお米支援、ふれあいサポート支援を2倍に増やした臨機応変な対応に信頼を寄せて頂いている事がよくわかりました。学校建設においては、青空教室や雨風をしのげない古い校舎などが政府に訴えても建ててもらえない状況です。まだまだ多くの子どもたちが、劣悪な環境で勉強していました。しかし教育熱心な校長先生や教師たちがいること、や社会福

祉局長、教育長など現地の関係省庁との連携や関係性が深まっていると感じました。ひとえにたくさんの支援者様からの変わらぬ支援のおかげであると実感致しました。



孤児院卒園生の活躍

プノンペン事務所より

プノンペン事務所では、奨学生に学費や生活費を支払ったり、卒園生(OBOG会)の管理をしています。孤児院を卒園した子どもたちが、大学進学や就職など活躍の場を広げています!!そこで、感謝を込めて皆様にご報告していきたいと思ひます。



アン・サオリー

バタンバン大学の3年生
(生物学科)

年齢:21歳

現在やっていること:

小学校の契約教師

将来の夢:

本採用の先生

学生の生活にはSAJから生活費をもらって生活をしています。ただコロナの影響で学校はオンラインになっています。そうになると電話代とネット代などが必要になっています。いつもより生活が厳しいですが、これからも頑張りたいと思っています。オンラインの勉強はネットが遅くて本当に不便です。いつも授業の後でも大学の先生と携帯電話でやり取りしています。

今の仕事については、小学校の先生では子どもが小さく、オンライン勉強は本当に大変です。両親があまり支えてあげないし、ネットを持っている子の方が少ないです。

将来の夢はもっと子どもたちと良くふれあいをしたい、いい先生になりたいです。



小学校の生徒たちとの1枚



モン・ニセツト

プノンペン大学(日本語学科)
4年生(卒業)

年齢:23歳

現在やっていること:

アルバイトをしています

将来の夢:

会社員

学生の生活はSAJの奨学金を頂いて、アルバイトをしながら生活しています。

SAJの皆様にかさい頃からご支援して頂いて本当にありがとうございます。また大学になってからも奨学金の支援して頂いています。この支援のおかげで他の子どもたちと同じように大学へ通えています。プノンペン大学の日本語学科4年間、最後の2年間はコロナの影響で大変でしたが、お陰様で今年大学を卒業出来ました。

最後に支援様の皆様が、ご健康でお仕事に成功出来るように祈っています。



大学の仲間たちとの1枚

孤児院からの報告

新入園児報告 ボウ・スレイネイ(4歳女の子)

今年の8月に、2人の兄が入園しています。

父親は足が不自由で仕事が出来ず、廃品回収で生活を支えていた母親が亡くなり、子どもの養育ができなくなったことが入園の理由です。その時、スレイネイ本人は祖母が引き取り面倒を見ることになっていましたが、生活は苦しく、育てていくことは困難だと役所が判断し、社会福祉局へ報告。協議の結果、兄たちといっしょにSAJで引き取ることにいたしました。



理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

〈構成メンバー〉

■代表理事: 渡邊美樹

■理事: 鳥井親一、清水和雄、
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事: 青木茂雄

■評議員: 大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事: 片山進平、清野貴彦

第222回理事評議員委員会が2021年12月27日にソーシャルディスタンスに配慮し、開催されました。

〔報告事項〕

報告1: 佐藤事務局長のカンボジア出張報告

報告2: 孤児院報告 近況報告

報告3: プノンペン事務所報告

報告4: バングラデシュ報告

報告5: 会計報告

〔決議事項〕

議案1: 2021年度建設校4校の検討と承認

議案2: 奨学金貸与者が死亡した場合について検討と承認

議案3: 建設標準仕様書および工事管理基準の見直しについての検討と承認

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
カンボジアでは、コロナ禍で2年ぶりに全国一律の高校卒業試験がありました。卒業試験の結果はその子の人生を大きく左右します。卒業試験の結果はA～Fの6段階で評価され、A～Eは合格、Fは不合格です。不合格になれば高校卒業資格をもらえません。残念ながらカンボジアでは地域による教育格差が顕著です。AやBランクでの合格は、プノンペンやシェムリアップといった都市部の進学校の生徒がほぼ独占します。孤児院のあるポーサット州など地方の高校の生徒は、クラスでトップ5を争う優秀な生徒でもEランクでぎりぎりの合格となることも少なくありません。そうした中で、孤児院の卒園生7人が全員Dランク以上、2人がCランクで合格するという快挙を成し遂げました。コロナ禍でカンボジア全土で長く学校が休校となり、子どもたちは自宅学習を余儀なくされました。そうしたなかで、孤児院では勉強スケジュールをたて、全科目の学力の維持・向上に努めてきました。園の外にも出れない環境下で、毎日コツコツと勉強してきた子どもたちの努力が、見事に卒業試験の結果に繋がりました。

孤児院では、今年度から大学進学時の奨学金の貸与基準を見直しました。昨年までは、「クラスでの成績が上位50%以内」であれば奨学金を貸与していましたが、大学で本気で学びたい子にだけ奨学金を貸与するよう、「卒業試験でDランク以上合格」と、より厳しい貸与基準としました。とても厳しい基準ですが、今年の卒園生は全員が見事にその基準をクリアしました。7人はこれから大学受験が控えています。夢の実現に向けて、さらなる健闘を期待しています。孤児院では、子どもたちと寄り添いながら生活習慣の確立や学力の向上に努め、いつかAランク合格者を排出したいと思っております。2022年も引き続き、皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。



卒園生

寄附募集

お米支援
(食糧支援寄附)

ふれあい
サポーター募集

コロナの影響で仕事がなく失業者が増加し、貧困家庭も増加しています。お米・ふれあいサポートの支援がなければ学校に通えない子どもたちが増えていきます。お米支援(食糧支援寄附)していただける方や、ふれあいサポーターになって「子どもたちの学習の機会を守っていききたい」と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局にご連絡ください。

ご支援いただいた寄附

2021年

11月の寄附金合計 42,440,741円

(内訳) 会員会費	1,369,850円
一般寄附	976,607円
指定寄附	40,094,284円

募金箱回収ありがとうございました

2021年11月募金箱回収

- 愛知EXPO(イベント設置)
- (株)ワタミ 関東全体会議(イベント設置)
- (株)ワタミ(「三代目鳥メロ」平塚北口店 「和民」秋葉原駅前店 「ミライザカ」南草津駅前店)



募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2021年4月現在のものです。募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

物品寄附



現在、輸送が遅れていますがカンボジアの子どもたちに送り届けます!

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)



32億

448万1,028円

現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)



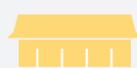
100,943人

SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計
(2006年度～2020年度)



12,312人

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)



318校

ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計
(2003年度～2020年度)



16,346人

SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計
(2006年度～2020年度)



125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。